

3 6年度予算案の主な取組

6年度予算案の主な取組一覧

事業名		6年度予算額	5年度予算額	掲載頁
(1) 安全の確保				
安全重点施策				6
バス事業	バス車両の更新	27億8,618万円	15億8,603万円	7
	バス車両の更新にあわせた安全機能の向上			7
	バス車両整備工場の機能向上			7
地下鉄事業	地下鉄利用におけるお客様への安全・安心の提供			8
	地下鉄施設・設備の計画的更新・補修	78億4,561万円	68億6,530万円	9
共通	職員の安全意識の向上			11
	安全を支える職員の健康管理	1億1,562万円	9,639万円	11
(2) 市民の足を守る				
バス事業	バスネットワークの最適化			12
地下鉄事業	大規模地震や風水害へのハード対策の推進			13
(3) 公営交通の責務				
横浜市中期計画「基本戦略」に掲げるまちの実現				
	高速鉄道3号線延伸事業の推進	2億1,607万円	2億856万円	14
	駅の大規模改良工事	2億1,769万円	21億7,172万円	15
	グリーンラインの6両化	21億8,072万円	16億621万円	15
	子育て世代への支援			16
	まちづくりとの連携			16
脱炭素社会の実現に向けた取組				
	バス車両の環境対策			17
	照明のLED化	6億5,680万円	2億4,837万円	17
	実質CO ₂ 排出ゼロでグリーンラインを運行	2,703万円	1,584万円	19
	一般公用車における次世代自動車等の導入	513万円	—	19
バリアフリー対策				
	駅ホームの段差・隙間縮小			20
	エレベーター・エスカレーターを更新	3億1,185万円	5億3,894万円	20
	駅トイレのバリアフリー化	1,260万円	1億5,236万円	20
(4) 財務基盤の強化				
資産の有効活用等による収益の向上				21
	貸切バス事業の推進	4億1,200万円	4億900万円	21
	観光事業の推進	2,355万円	1,133万円	22
	決済サービスの拡充			22
	乗車券制度の検討			23
	バス・地下鉄業務の効率化	6,610万円	—	23
(5) 人財育成の推進				
市営交通を支える人財の確保		3,600万円	3,649万円	24
バス乗務員の養成				25
働きやすい環境の整備		3億2,290万円	4億3,606万円	25

※ 入札に影響を及ぼす恐れがあるなどの理由により、予算額を掲載していない事業があります。

(3) 公営交通の責務

ア 横浜市中期計画「基本戦略」に掲げるまちの実現

(ア) 高速鉄道3号線延伸事業の推進

2億1,607万円

高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）については、2年1月に概略ルート・駅位置を選定し、その後、横浜市条例に基づく環境影響評価手続きに着手し、関係機関との協議・調整、行政手続や調査・設計を進めてきましたが、昨今の建設物価の高騰やコロナの影響による鉄道需要の減少など、顕在化した新たな課題への対応に時間を要している状況です。

6年度は、課題の解消に向けて引き続き取り組むとともに、早期の事業着手に向け、調査・設計の深度化や関係機関との協議・調整、行政手続を進めます。

<事業概要（平成31年1月発表）>

整備区間	あざみ野～新百合ヶ丘
整備延長	約6.5km
概算事業費	約1,720億円
ルート・駅位置	新駅4駅（既設あざみ野駅を除く）
事業主体	横浜市交通局（第一種鉄道事業者）
事業スキーム	地下高速鉄道整備事業費補助（想定）
開業目標	令和12年開業目標（交通政策審議会答申の目標年次）

<整備効果>

- (1) 広域的な鉄道ネットワークの形成
 - ・横浜と川崎市北部、多摩地域を結ぶ、新たな都市軸の形成
 - ・災害等による輸送障害発生時の代替経路の確保
- (2) 新幹線アクセス機能の強化
 - ・横浜市北西部のみならず、川崎市北部・多摩地区など、広い範囲から新横浜駅へのアクセス機能の強化
- (3) 移動時間の短縮（例）
 - ・拠点間アクセスの強化（新百合ヶ丘～あざみ野）
約30分→約10分 約20分短縮（乗換なし）
 - ・新幹線アクセスの強化（新百合ヶ丘～新横浜）
約35分→約27分 約8分短縮（乗換なし）
- (4) 沿線地域の活性化
 - ・新駅周辺まちづくりの活性化
 - ・ターミナル駅の交通結節機能強化、沿線地域の公共交通ネットワークの強化



<ルート選定について>

川崎市側のルートについては、地域交通やまちづくりの視点から評価を行うとともに、市民のみなさまからの御意見等を踏まえ、総合的に判断した結果、ヨネツティー王禅寺付近を通るルートに決定しました。